

県民の皆様へ

令和4年8月23日

山梨県医師会 新型コロナ重点医療機関 山梨県消防長会 山梨県

山梨大学医学部附属病院

山梨県立中央病院

市立甲府病院

国立甲府病院

山梨厚生病院

甲陽病院

大月市立中央病院

富士川病院

富士温泉病院

富士吉田市立病院

山梨赤十字病院

山梨県立北病院

JCHO山梨病院

甲府共立病院

都留市立病院

上野原市立病院

順不同

新型コロナウイルス感染症が流行し、日常生活に様々な制限がかかり、大変な生活を強いられている方も多いと思います。

それら感染対策をしても変異株は次々に生まれ、感染者数は増加していることから、コロナ対策にある種の疲れを感じている方も多くおられることでしょう。

確かに多くの人にとっては、コロナは罹患しても死亡するリスクはそう高くはありません。

しかしコロナに罹患した後の様々な後遺症も報告されており、特にワクチンを未接種の方にとってはまだ「かかっても良い病気」ではないと考えられます。

また、その驚くべき感染力の強さから、一気に感染が拡大し、我々の対処能力を超え、現在**通常の医療を提供できない事態**に陥っています。

コロナの患者さんだけではなく、通常の医療が必要な方のためにも、今一度

「マスク着用、ワクチン接種、できる範囲で3密を避ける」

という、基本的な感染対策をお願いするところです。必要な医療を必要な方にお届けするために、是非お願い致します。

マスクを着用し てください

感染対策の徹底を！

新型コロナウイルスは人との接触で感染が広がります。**いま**コロナになると**1人以上**にうつしてしまいます。なるべく人との不必要な接触はさけましょう。TV電話、Line、ZOOM…、**直接会わなくてもキモチは伝わります。**

どうしても会わなければ
ならないときは…

**マスクを着用！
できるだけ広い空間で！
短時間で！**

ワクチンを打ってください！

ワクチンは感染をへらすだけではありません。**重症化の予防効果**もあります。若者は重症化しにくいと言われていますが、後遺症で苦しむことも、まれに重症化して命を落とすこともあります。

行動範囲の広い若年層、未来ある子供にこそ受けてください。ワクチンは自分と身の回りの皆さんの感染リスクを減らしますので、早めの接種をお願いします。

**日本小児科学会は5～17歳の全ての小児に
新型コロナワクチン接種を推奨しています。**

コロナは風邪ではありません

「軽症」であっても高熱、強い咽頭痛、倦怠感が出ます。

コロナは風邪ではありません。25%が無症状ですが、風邪より強い症状の方もいます。中等症では入院して酸素吸入しないと命にかかわり、重症では入院しても助からないこともあります。一方で皆さんが高熱で怠くて苦しくてのどが痛くて救急車を呼びたくなるような状況でも、医学的には「軽症」と診断されることがあります。

患者数の多い現状では軽症の方は基本的に入院できません。



コロナウイルスの後遺症について

コロナは治ったらいままで通り元の生活に戻れるという保証はありません。年齢や性別にかかわらずコロナの罹患後には何らかの体調不良が数ヶ月にわたって続きます（いわゆる後遺症）。日常生活に支障を来す不調に悩まされることもあります。小児では小児多系統炎症症候群（MIS-C）が心配されます。

いつもの医療が 提供できていません

コロナの蔓延により、手術の延期、救急車受け入れ不能事例などが多く出ています。

現在コロナの増加に伴い、**ほかの病気の患者さんの診療が制限**されています。救急車に収容されてから現場を出発するまでに200分以上かかるケースも出てきております。

今までなら助かる病気・ケガで命を落とすことや、後遺症が残る場合もあるかもしれません。

現在コロナ患者さんの入院が増加しており、一部で予定された入院や手術の延期などが必要になっています。

軽症の方は、救急車を要請するかどうか迷われたら、真に必要とする方の命を危険にさらす可能性もあることも念頭に、慎重にご一考をお願いします。

そして、**感染対策と日々の健康管理**をお願いします。

救急車を呼ぶ場合

限りある医療資源を有効活用するための 医療
機関受診及び救急車利用に関する4学会声明

顔色が明らかに悪い
唇が紫色になっている
(表情や外見等が)いつもと違う
様子がおかしい
息が荒くなった
急に息苦しくなった
日常生活で少し動いただけで息苦しい
胸の痛みがある
横になれない
座らないと息ができない
肩で息をしている
意識がおかしい(意識がない)など